

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんあそび（線あそび）

長い線を理解する

活動スケジュール

3歳児クラス

日にち	令和7年5月22日
時間	30分
参加人数	15人

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クレヨン

探究活動を実践する

●活動内容

園にあるおもちゃ、通園についての話をする

長い線を描く

●子どもたちの様子

どうやって保育園まで来るかを考えると、「歩いてきた」「自転車だよ」と自分のことを話すことができた。絵を見てどのバス停が園に近いかを考え、「バス停に子どもたちをお迎えに行こう」と、バス停から園までクレヨンで長い線を引くことができた。赤・青・黄色と順番に、「出発しまーす」「到着しました！」と楽しそうに発言しながら取り組んでいた。園や家にあるおもちゃを思い出してボールとボールを線でつなぎ、「丸が大きくなっちゃった！」「繋ぐと眼鏡みたい！」と、自分たちが描いた線を見ながら会話する姿もあった。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

バスの絵を見て興味を持つ児が多かった。指定されたバス停とは違う所を繋ごうとすることもあったが、保育者に声掛けされて正しいルートで線を引いていた。好きな色で線を引く時はどの色にしようか隣の児と相談したり真似して楽しんでいた。白色を選び、見えにくいことに気が付く児もいた。

講師より

自分の体験を思い出し、楽しく発言する姿が多く見られた。線あそびでは、自分たちが描いた線に喜びを感じながら発見を楽しむ様子が見られた。自分のことや思いを言葉で表現したり、友だちと共有する楽しさを感じながら、活動に主体的に関わる姿が育まれていると感じた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 せんがき（線描き）

直線をさらに理解する

活動スケジュール

4歳児クラス

日にち	令和7年5月22日
時間	30分
参加人数	15人

環境をデザインする

●準備した物 プリント、クーピー

探究活動を実践する

●活動内容

部屋の中で、知っている同じような形を探す

文字の道を見て特徴をみつけたり表現したりする

●子どもたちの様子

部屋の中をキョロキョロと見渡しなが、まっすぐな線を探し、「窓のところ」「マグネット」「カレンダー」「ドア」など、次々に教えてくれた。床に貼られたテープにも気づき、「これも長くてまっすぐだね!」と知らせてくれた。線を描くときには、自分たちが見つけた「まっすぐ」を意識して取り組む姿が見られた。文字の道では、「ての道はまっすぐと少し丸い!」と形の特徴に気づき、「くるりんがむずかしい!」「はみ出しちゃった!」と困りながらも描こうとする姿があった。「り」の跳ねるところでは、「グネってなっちゃった」と、肩間にしわを寄せてがんばって書いていた。



●振り返りをふまえた気づき

担任より

部屋の中にある「まっすぐ」の物に興味を示し、探すことを楽しんでた。ひらがなではまっすぐの線が少ないことも理解していて曲線を描くのが難しいようだったが上手に書けると嬉しそうに「書けたよ!」と教えてくれていた。

講師より

子どもたちは、日常の中にある「まっすぐ」に気づいたことで、直線の理解が広がり、より明確なイメージを持って丁寧に線描きに取り組んでいた。自分なりに線の形や動きを理解しようとする姿や、積極的な発言も多く見られた。線がはみ出してしまっても、色を変えて描き直すなど、前向きな気持ちで取り組む姿から、あきらめずに挑戦する気持ちが育っていることを感じた。

令和7年度

パピーナ西荻北保育園

すくわくプログラム

テーマ： ことば

活動 ひらがな・線描き

やさしいカーブを理解する

環境をデザインする

●準備した物 プリント、鉛筆

活動スケジュール

5歳児クラス

日にち	令和7年5月22日
時間	45分
参加人数	15人

探究活動を実践する

●活動内容

文字の特徴と文字がつく言葉話す

やさしいカーブを描く

●子どもたちの様子

「て」のつく言葉を尋ねると、「テレビ」「電車」「天狗」「天井」「手」など、たくさんの言葉が出てきた。「て」を「真っ直ぐの線、だけど少し坂道」「下は少し丸い」などと、自分の言葉で特徴をとらえて答えることができた。「い」「り」「こ」の似ている点と異なる点についても、しっかり考える様子があった。「優しいカーブは少し丸い、虹と同じだね」と、微妙な線の形も自分で描こうとする姿が見られた。「まっすぐな線を描くより難しい」と言いながらも、カーブのある形にも丁寧に取り組むことができていた。



●振り返りをふまえた気づき
担任より

見本をよく見てから、見本と同じように曲線を描いてみたり、直線を書いてみたりしていた。見本との自分のを見比べて難しさや上手に出来た喜びを経験していた。また、平仮名も見本をみながら注意する点を覚えて、綺麗な形で書こうと努力していた。跳ね、止め、はらいにも意識して書いていた。

講師より

言葉をきっかけに文字の形に関心を持ち、形の特徴を自分なりにとらえようとする姿が見られた。身近なもの結びつけて考える姿もあり、「優しいカーブ」という新しい視点で形をとらえることで、カーブに対する理解がより深まっていると感じた。苦戦しながらも丁寧に線を描こうとする姿から、曲線描きへの意識が高まっていることがうかがえた。